

校長室から (NO. 42)

かわいい大根掘りの思い出



1年生が畑に蒔いた大根やカブの種が生長し、こんな立派な大根が育ちました。子供たちは大喜びです。思わず「とったぞ〜!!」のポーズになってしまいます。あんなに小さな種が、このような大きな実りをもたらしてくれることに、子供たちは、驚き、感動したにちがいありません。

そんな中、まだ大きくなりきれしていない大根やカブも結構ありました。地域の畑の先生からは、「まだ、しばらくこのままにしておいてね」と教わりました。そこで、担任は、子供たちに「小さくて、まだ抜いてよいかどうか分からないときは、先生に聞いてね」と言いました。

さて、1年生の子供たちは、どうしたでしょうか…。

「先生、これ、だいじょうぶ?」「先生、これ、もういい?」と、先生に言われたとおりちゃんと質問する子供たち。しかし、その手には、すでに抜いてしまったかわいい大根やカブがありました。一度抜いてしまった大根は、元に戻りそうもありません。返す言葉を探しているうちに、みるみる畑は、一つ残らず抜かれてしまっていました。

担任の先生と苦笑いをしたこのかわいい出来事を 今年のおき思い出にしたいと思っています。

